

2017（平成29）年度

## 第4回「川口市立小谷場中学校 学校運営協議会」会議録

---

### 1.日 時（於：小谷場中学校会議室）

2018（平成30）年2月22日 17：00～18：30

### 2.参加者（敬称略）

浦邊、佐久間、渡辺、松原、吉田、天野、坂井、郡、杉山、柳澤（10名）

【欠席】鯉淵、梶、石川、中川、小澤、（5名）—— 敬称略

### 3.議事

議事に先立ちまして、「校長挨拶」「運営協議会長挨拶」がおこなわれました。

#### ・校長挨拶

今年度もあと残すところ約1ヵ月となりました。3年生の公立入試も1週間後に控えています。卒業するときは希望をもって進路先へ進んでほしいと考えています。本日は、活動報告と学校評価の検討を中心をお願いいたします。

#### ・会長挨拶

小谷場中の40周年もおかげさまでつつがなく進めることができました。それもPTAや地域の方々のご協力によるところが多くありました。また、学校選択制の廃止により、一層地域の方々と一緒に進めていく理想の形になったと思います。

#### ●第3回学校運営協議会の確認について

第3回運営協議会の会議録をもとに報告し、修正意見なく承認されました。

#### ●後半期の教育活動報告

「今月のちょっと良いはなし」をもとに、10月以降の教育活動について報告がありました。

#### ●平成29年度学校評価について

教職員、保護者、生徒アンケート、あわせて学校財務の総括と教材等に関する教職員評価について報告がありました。

#### 質問・意見

アンケートにある「やや劣る」、「劣る」とある部分は是正が必要だろう。

スマートフォンなどの扱いについても、家庭の協力ができない。たとえば、その課題をPDCAにあてはめながら、解決策を考えたらどうだろうか。数値目標などの計画を立てて（1日30分以内など）、実行してみる。そこから意識が深まると感じる。目標の設定をまず試してみることが大事だろう。

〈文責・柳澤〉

その後、評価をおこない改善策を考える。また、スマホやゲームに対して「熟議」をしてもいいのではないだろうか。よくもわるくも影響を整理していくことで課題がみえてくるだろう。

この問題は、学校と家庭のコンセンサスを統一する必要があるだろう。学校だけでも家庭だけの問題でもない。保護者アンケートから考えると、もう少し学校も関わって指導してほしいとも読める。学校が一方向的にやるのではなくコンセンサスをとった進め方、連携の仕方を検討していく必要があるのではないか。

あいさつに関しては、その意義を考えていくべきだと感じる。言葉の使い方、礼の仕方なども含めて、その根本から指導していく必要がある。「教員と子ども」だけの関係ではなく、「地域・町会と子ども」の関係も必要だろうと考える。たとえば、町会館などで「寺子屋」のように勉強会を開くことも可能だと感じている。このような体制を町会としてもつくれると考えている。

学校評価に関する項目や検討内容が細かく評価されている。ここまで細かいのはあまりみない。それは、家庭や地域にもきめ細やかな対応をしているからだろうと想像できる。継続して行ってほしい。

## ●自己評価に対する学校関係者評価

自己評価の提案をおこない、学校関係者評価をいただきました。

### 質問・意見

**組織運営**——教職員の会議は月に何回くらいおこなわれているのか？ 意見交換などは進んでいるか？ 小谷場中は教職員が少ないから分掌組織を掛け持ちしているだろうが、受け持っている分掌だけではなく、横の繋がりも意識しながら進めていく必要があるだろう。

**教育課程**——ステップアップの中身を検討していく必要もあると考える。闘争心をくすぐるようなやり方も必要だろう。内申書へのつながりなども意識すると生徒のためにもなるだろう。

**開かれた学校づくり**——教職員のあいさつにも和やかさを出したらどうか。おとなから与える「明るさ」も必要だろう。地域を迎えるだけではなく、教職員から外へ開いていくことも必要だろう。

**教職員の資質向上**——教職員の専門的な部分だけではなく、社会生活一般にもおいても資質向上が必要だろうと見受けられる。試験の結果だけではなく、しっかり社会から受け入れられるような生徒像を共有することが大事。防災教育・災害教育の合同訓練などに関する資質向上も必要だろう。また、若手教職員の研修体制も必要と考える。

**施設・設備等の管理**——学校はキレイに維持されていると思う。小谷場中は地域から要求を出していき、改善につながっている事例もある。また、公費に対する私費の割合が多いことは義務教育として問題があると思う。